

令和5年度

山梨市一般会計・特別会計歳入歳出決算
及び基金運用状況審査意見書

山梨市監査委員

梨監査第 8-2 号
令和6年8月19日

山梨市長 高 木 晴 雄 様

山梨市監査委員 古 谷
山梨市監査委員 星 野



令和5年度 山梨市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び
基金運用状況の審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により、審査に
付された令和5年度山梨市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用
状況の審査を行なったので、次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の実施期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	2
1	総括	2
(1)	決算の規模	2
(2)	決算の収支	2
(3)	市債の償還及び残高	3
2	一般会計	6
(1)	概要	6
(2)	歳入	11
(3)	歳出	14
3	特別会計	17
(1)	国民健康保険特別会計	17
(2)	後期高齢者医療特別会計	20
(3)	交通・火災災害共済事業特別会計	21
(4)	浄化槽事業特別会計	23
(5)	介護保険特別会計	24
(6)	居宅介護予防支援事業特別会計	26
(7)	活性化事業特別会計	27
4	財産に関する調書	28
(1)	公有財産	28
(2)	物品	28
(3)	基金	29
5	審査意見	30
(1)	一般会計	30
(2)	特別会計	32

(注) 本書において、比率(%)は原則として小数点以下第2位を四捨五入とした。
従って、合計と内訳の計、差引などが一致しない場合がある。

令和5年度 山梨市
一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和5年度	山梨市一般会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算書
令和5年度	財産に関する調書

2 審査の実施期間

令和6年7月18日から令和6年7月29日まで

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運営状況を示す書類について、次の事項に主眼をおき、関係職員からの説明を聴取し、併せて定期監査及び例月出納検査の結果を踏まえて決算審査を行った。

- ①各計数は正確であるか
- ②予算の執行が、議決の趣旨に沿って適正かつ効果的に執行されているか
- ③財務に関する事務は、財務規則及び関係法令等に適合して、公正に処理されているか
- ④財政運営は健全か
- ⑤財産の取得・管理及び処分は、適正に処理されているか

第2 審査の結果

審査に付された一般会計・特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金運用状況に関する調書は、関係法令等に準拠して作成されており、決算計数はいずれも関係諸帳簿・証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また、各決算の内容、予算の執行状況については、適正であると認められた。

1 総 括

(1) 決算の規模

令和5年度の一般会計及び特別会計の決算は、次のとおりである。

一般会計・特別会計決算

(単位：円)

区 分	一般会計	特別会計	合 計
予 算 現 額	26,653,643,455	9,470,069,000	36,123,712,455
歳 入 決 算 額	27,370,602,392	9,333,523,019	36,704,125,411
歳 出 決 算 額	24,880,173,421	8,899,723,510	33,779,896,931
歳入歳出差引額	2,490,428,971	433,799,509	2,924,228,480

令和5年度一般会計及び特別会計の歳入歳出の決算額は、

歳入総額 36,704,125,411円 (予算現額に対する割合101.6%)

歳出総額 33,779,896,931円 (予算現額に対する割合 93.5%)

差引残額 2,924,228,480円である。

(2) 決算の収支

決算の収支は、次のとおりである。

決算収支

(単位：円)

区 分	一般会計	特別会計	合 計
形 式 収 支	2,490,428,971	433,799,509	2,924,228,480
翌年度へ繰越すべき財源	368,207,585	0	368,207,585
実 質 収 支	2,122,221,386	433,799,509	2,556,020,895

総決算額における歳入歳出差引額(形式収支)は、2,924,228,480円の黒字となっている。この中には翌年度に繰越すべき財源が、一般会計の368,207,585円が含まれているため、この金額を除いた2,556,020,895円が、令和5年度の実質黒字になっている。

(3) 市債の償還及び残高

市債の償還額及び残高は次表のとおりである。

(単位：円)

年 度	償 還 額	市債残高
令和5年度	2,445,035,327	19,891,728,405
令和4年度	2,473,276,318	21,551,561,631

第1表

令和5年度 各会計決算総括表

(単位：円，％)

区 分 会計別		予算現額	歳 入			歳 出			収支差引額 (形式収支) A－B＝C	翌年度へ 繰越すべき 財源額 D	実質収支額 C－D＝E
			決算額 A	構成比	対予算 収入率	決算額 B	構成比	対予算 執行率			
一 般 会 計		26,653,643,455	27,370,602,392	74.6	102.7	24,880,173,421	73.7	93.3	2,490,428,971	368,207,585	2,122,221,386
特 別 会 計		9,470,069,000	9,333,523,019	25.4	98.6	8,899,723,510	26.3	94.0	433,799,509	0	433,799,509
内 訳	国民健康保険	4,497,917,000	4,269,839,752	11.6	94.9	4,119,223,690	12.2	91.6	150,616,062	0	150,616,062
	後期高齢者医療	573,680,000	559,870,733	1.5	97.6	557,424,039	1.7	97.2	2,446,694	0	2,446,694
	交通・火災災害 共 済 事 業	18,516,000	10,354,714	0.1	55.9	5,347,933	0.1	28.9	5,006,781	0	5,006,781
	浄 化 槽 事 業	63,342,000	62,384,267	0.2	98.5	62,384,267	0.2	98.5	0	0	0
	介 護 保 険	4,194,371,000	4,316,249,752	11.8	102.9	4,040,519,780	12.0	96.3	275,729,972	0	275,729,972
	居宅介護予防 支 援 事 業	16,025,000	15,396,802	0.1	96.1	15,396,802	0.1	96.1	0	0	0
	活 性 化 事 業	106,218,000	99,426,999	0.3	93.6	99,426,999	0.3	93.6	0	0	0
	合 計		36,123,712,455	36,704,125,411	100.0	101.6	33,779,896,931	100.0	93.5	2,924,228,480	368,207,585

第2表

令和5年度 各会計収支実績及び資金運用状況表（令和5年4月～令和6年5月）

月別 区分	令和5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
歳入総額	1,522,806,485	2,987,773,156	9,031,661,751	10,559,130,729	12,534,624,668	16,137,282,177	17,777,054,305
（一般会計）	1,479,926,477	2,278,335,927	7,389,423,653	8,063,097,764	9,361,748,076	12,282,571,962	13,442,596,018
（特別会計）	42,880,008	709,437,229	1,642,238,098	2,496,032,965	3,172,876,592	3,854,710,215	4,334,458,287
歳出総額	790,152,182	2,192,261,594	4,572,873,586	6,569,427,815	8,515,448,848	11,378,573,034	14,680,815,060
（一般会計）	749,328,550	1,539,309,783	3,316,811,483	4,686,781,845	5,857,629,792	7,928,329,739	10,486,374,493
（特別会計）	40,823,632	652,951,811	1,256,062,103	1,882,645,970	2,657,819,056	3,450,243,295	4,194,440,567
当月収支差引	732,654,303	795,511,562	4,458,788,165	3,989,702,914	4,019,175,820	4,758,709,143	3,096,239,245
累計収支差引 A	732,654,303	1,528,165,865	5,986,954,030	9,976,656,944	13,995,832,764	18,754,541,907	21,850,781,152
一時借入金残高 B	0	0	0	0	0	0	0
一時繰替借残高 C	0	0	0	0	0	0	0
一時繰替貸残高 D	0	0	0	0	0	0	0
翌年度繰越残高 E	0	0	0	0	0	0	0
当年度資金残高 A+B+C+D+E=F	732,654,303	1,528,165,865	5,986,954,030	9,976,656,944	13,995,832,764	18,754,541,907	21,850,781,152
前年度又は 翌年度資金残高 G	0	0	0	0	0	0	0
資金残高 F+G=I	732,654,303	1,528,165,865	5,986,954,030	9,976,656,944	13,995,832,764	18,754,541,907	21,850,781,152

(単位：円)

11月	12月	令和6年1月	2月	3月	4月	5月	合 計
20,506,255,491	22,261,696,797	24,752,788,726	25,977,654,148	33,907,632,770	34,584,925,332	36,704,125,411	269,245,411,946
15,305,201,541	16,472,637,950	18,301,416,087	18,841,978,471	25,586,812,599	26,136,904,093	27,370,602,392	202,313,253,010
5,201,053,950	5,789,058,847	6,451,372,639	7,135,675,677	8,320,820,171	8,448,021,239	9,333,523,019	66,932,158,936
16,836,517,474	19,063,665,599	20,665,031,724	22,761,511,416	29,882,629,268	32,336,377,134	33,779,896,931	224,025,181,665
11,858,085,057	13,301,570,729	14,075,004,282	15,369,806,467	21,571,904,868	23,490,598,421	24,880,173,421	159,111,708,930
4,978,432,417	5,762,094,870	6,590,027,442	7,391,704,949	8,310,724,400	8,845,778,713	8,899,723,510	64,913,472,735
3,669,738,017	3,198,031,198	4,087,757,002	3,216,142,732	4,025,003,502	2,248,548,198	2,924,228,480	45,220,230,281
25,520,519,169	28,718,550,367	32,806,307,369	36,022,450,101	40,047,453,603	42,296,001,801	45,220,230,281	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
25,520,519,169	28,718,550,367	32,806,307,369	36,022,450,101	40,047,453,603	42,296,001,801	45,220,230,281	
0	0	0	0	0	0	0	
25,520,519,169	28,718,550,367	32,806,307,369	36,022,450,101	40,047,453,603	42,296,001,801	45,220,230,281	

2 一般会計

(1) 概要

① 決算収支

一般会計の決算状況は、

予算現額 26,653,643,455円
 歳入決算額 27,370,602,392円（予算現額に対する割合 102.7%）
 歳出決算額 24,880,173,421円（予算現額に対する割合 93.3%）
 歳入歳出差引額 2,490,428,971円

であり、この形式収支の金額から翌年度へ繰り越すべき財源368,207,585円を差し引いた実質収支額は、2,122,221,386円の黒字となった。

これを繰越金として翌年度に繰り越した。

② 予算執行状況

一般会計歳入総額は27,370,602,392円で、予算現額26,653,643,455円に対する比率は、102.7%となっている。これを前年度の歳入総額26,465,564,579円と比べると、905,037,813円（3.4%）の増加となっている。

不納欠損額は17,349,725円で、前年度の22,127,391円と比べると21.6%の減少となっている。収入未済額は196,222,122円で、前年度の218,619,973円と比べると10.2%の減少となった。収入未済額に占める市税の割合は、113,587,734円で57.9%である。

一方、歳出総額は24,880,173,421円で、前年度の歳出総額24,417,339,069円と比べると462,834,352円（1.9%）の増加となっている。予算現額26,653,643,455円に対する執行率は93.3%となっており、不用額は946,452,683円である。不用額の主なものは、総務費の140,939,934円、民生費215,298,758円、衛生費145,668,422円などである。

③ 一般会計の決算状況を前年度（令和4年度）と比べると、次表のとおりである。

一般会計決算状況			(単位：円，%)
区 分 / 年 度	令和5年度	令和4年度	対前年度増減額
A 予算現額	26,653,643,455	25,926,163,232	727,480,223
B 歳入決算額	27,370,602,392	26,465,564,579	905,037,813
C 歳出決算額	24,880,173,421	24,417,339,069	462,834,352
D 歳入歳出差引額（B－C）	2,490,428,971	2,048,225,510	442,203,461
E 翌年度へ繰越すべき財源	368,207,585	132,043,141	236,164,444
F 実質収支額（D－E）	2,122,221,386	1,916,182,369	206,039,017
G 前年度実質収支額	1,916,182,369	1,691,451,959	224,730,410
H 単年度収支額	206,039,017	224,730,410	△ 18,691,393
予 算 歳入（B／A）	102.7	102.1	
執行率 歳出（C／A）	93.3	94.2	

第3表

一般会計款別歳入状況表

(単位：円，％)

区分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入 済額との比較	対予算現額		対調定 収入率	収入済 額の構 成比
							調定率	収入率		
1. 市税	3,978,096,000	4,352,346,258	4,223,932,179	14,826,345	113,587,734	245,836,179	109.4	106.2	97.0	15.4
2. 地方譲与税	142,528,000	162,664,000	162,664,000	0	0	20,136,000	114.1	114.1	100.0	0.6
3. 利子割交付金	450,000	1,357,000	1,357,000	0	0	907,000	301.6	301.6	100.0	0.0
4. 配当割交付金	20,000,000	23,876,000	23,876,000	0	0	3,876,000	119.4	119.4	100.0	0.1
5. 株式等譲渡 所得割交付金	16,000,000	27,534,000	27,534,000	0	0	11,534,000	172.1	172.1	100.0	0.1
6. 法人事業税 交付金	57,000,000	68,158,000	68,158,000	0	0	11,158,000	119.6	119.6	100.0	0.2
7. 地方消費税 交付金	805,000,000	819,587,000	819,587,000	0	0	14,587,000	101.8	101.8	100.0	3.0
8. 環境性能割 交付金	14,000,000	18,274,000	18,274,000	0	0	4,274,000	130.5	130.5	100.0	0.1
9. 地方特例 交付金	32,000,000	33,974,000	33,974,000	0	0	1,974,000	106.2	106.2	100.0	0.1
10. 地方交付税	5,500,000,000	6,267,799,000	6,267,799,000	0	0	767,799,000	114.0	114.0	100.0	22.9
11. 交通安全対策 特別交付金	2,600,000	2,579,000	2,579,000	0	0	△ 21,000	99.2	99.2	100.0	0.0
12. 分担金及び 負担金	157,368,000	156,020,241	149,129,143	737,280	6,153,818	△ 8,238,857	99.1	94.8	95.6	0.5
13. 使用料及び 手数料	260,639,000	343,842,747	265,576,077	1,786,100	76,480,570	4,937,077	131.9	101.9	77.2	1.0
14. 国庫支出金	3,203,453,314	2,809,320,149	2,809,320,149	0	0	△ 394,133,165	87.7	87.7	100.0	10.3
15. 県支出金	1,271,841,000	1,239,275,906	1,239,275,906	0	0	△ 32,565,094	97.4	97.4	100.0	4.5
16. 財産収入	14,868,000	15,012,996	15,012,996	0	0	144,996	101.0	101.0	100.0	0.1
17. 寄附金	4,185,001,000	4,571,436,857	4,571,436,857	0	0	386,435,857	109.2	109.2	100.0	16.7
18. 繰入金	3,765,751,000	3,638,292,697	3,638,292,697	0	0	△ 127,458,303	96.6	96.6	100.0	13.3
19. 繰越金	2,048,225,141	2,048,225,510	2,048,225,510	0	0	369	100.0	100.0	100.0	7.5
20. 諸収入	268,623,000	286,198,878	286,198,878	0	0	17,575,878	106.5	106.5	100.0	1.0
21. 市債	910,200,000	698,400,000	698,400,000	0	0	△ 211,800,000	76.7	76.7	100.0	2.6
歳 入 合 計	26,653,643,455	27,584,174,239	27,370,602,392	17,349,725	196,222,122	716,958,937	103.5	102.7	99.2	100.0

第4表

一般会計歳入決算額比較表

(単位：円，％)

科目(款) / 区 分	令和5年度	構成比	対前年度比較 増 減 率	令和4年度	構成比
1. 市税	4,223,932,179	15.4	0.6	4,197,452,931	15.9
2. 地方譲与税	162,664,000	0.6	0.9	161,267,000	0.6
3. 利子割交付金	1,357,000	0.0	△ 14.9	1,595,000	0.0
4. 配当割交付金	23,876,000	0.1	22.0	19,570,000	0.1
5. 株式等譲渡所得割交付金	27,534,000	0.1	61.8	17,016,000	0.1
6. 法人事業税交付金	68,158,000	0.2	22.7	55,543,000	0.2
7. 地方消費税交付金	819,587,000	3.0	0.0	819,972,000	3.1
8. 環境性能割交付金	18,274,000	0.1	0.2	18,235,000	0.1
9. 地方特例交付金	33,974,000	0.1	2.2	33,239,000	0.1
10. 地方交付税	6,267,799,000	22.9	0.1	6,259,165,000	23.7
11. 交通安全対策特別交付金	2,579,000	0.0	△ 2.5	2,646,000	0.0
12. 分担金及び負担金	149,129,143	0.5	△ 11.3	168,033,973	0.6
13. 使用料及び手数料	265,576,077	1.0	△ 0.9	268,111,649	1.0
14. 国庫支出金	2,809,320,149	10.3	△ 19.7	3,496,924,133	13.2
15. 県支出金	1,239,275,906	4.5	△ 0.3	1,243,233,988	4.7
16. 財産収入	15,012,996	0.1	△ 66.2	44,405,578	0.2
17. 寄附金	4,571,436,857	16.7	26.7	3,607,414,116	13.6
18. 繰入金	3,638,292,697	13.3	13.8	3,195,900,204	12.1
19. 繰越金	2,048,225,510	7.5	13.0	1,813,097,429	6.9
20. 諸収入	286,198,878	1.0	△ 11.2	322,366,578	1.2
21. 市債	698,400,000	2.6	△ 3.1	720,376,000	2.7
歳 入 合 計	27,370,602,392	100.0	3.4	26,465,564,579	100.0

第5表

一般会計款別歳出状況表

(単位：円, %)

科目(款) / 区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	支出済額の構成比	執行率
1. 議会費	164,680,000	162,644,989	0	2,035,011	0.7	98.8
2. 総務費	4,647,347,000	4,349,302,866	157,104,200	140,939,934	17.5	93.6
3. 民生費	6,719,919,000	6,371,772,242	132,848,000	215,298,758	25.6	94.8
4. 衛生費	1,885,873,000	1,725,203,438	15,001,140	145,668,422	6.9	91.5
5. 労働費	53,227,000	49,268,056	3,168,000	790,944	0.2	92.6
6. 農林水産業費	1,011,435,000	769,509,027	220,908,984	21,016,989	3.1	76.1
7. 商工費	760,328,000	676,878,778	0	83,449,222	2.7	89.0
8. 土木費	2,072,939,740	1,739,250,507	253,006,027	80,683,206	7.0	83.9
9. 消防費	923,879,788	912,878,109	0	11,001,679	3.7	98.8
10. 教育費	1,687,677,000	1,601,396,110	24,611,000	61,669,890	6.4	94.9
11. 災害復旧費	30,355,000	5,119,601	20,370,000	4,865,399	0.0	16.9
12. 公債費	2,445,132,000	2,445,051,217	0	80,783	9.8	100.0
13. 諸支出金	4,072,172,000	4,071,898,481	0	273,519	16.4	100.0
14. 予備費	178,678,927	0	0	178,678,927	0.0	0.0
歳出合計	26,653,643,455	24,880,173,421	827,017,351	946,452,683	100.0	93.3

第6表

一般会計歳出決算額比較表

(単位：円，％)

科目(款) / 区分	令和5年度	構成比	対前年度比較 増 減 率	令和4年度	構成比
1. 議会費	162,644,989	0.7	△ 2.0	166,024,876	0.7
2. 総務費	4,349,302,866	17.5	6.8	4,070,871,525	16.7
3. 民生費	6,371,772,242	25.6	0.5	6,337,372,402	26.0
4. 衛生費	1,725,203,438	6.9	13.5	1,519,754,960	6.2
5. 労働費	49,268,056	0.2	△ 3.9	51,242,889	0.2
6. 農林水産業費	769,509,027	3.1	13.1	680,622,432	2.8
7. 商工費	676,878,778	2.7	△ 3.6	702,461,265	2.9
8. 土木費	1,739,250,507	7.0	△ 0.7	1,751,036,257	7.2
9. 消防費	912,878,109	3.7	19.4	764,577,825	3.1
10. 教育費	1,601,396,110	6.4	△ 3.6	1,660,999,077	6.8
11. 災害復旧費	5,119,601	0.0	1,675.1	288,420	0.0
12. 公債費	2,445,051,217	9.8	△ 4.7	2,566,802,974	10.5
13. 諸支出金	4,071,898,481	16.4	△ 1.8	4,145,284,167	17.0
14. 予備費	0	0.0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	24,880,173,421	100.0	1.9	24,417,339,069	100.0

(2) 歳 入

歳入決算額を款別に見ると、次のとおりである。

第1款 市税

調定額4,352,346,258円に対して、収入済額は4,223,932,179円であり、調定額に対する収入率は97.0%であった。市税収入額が歳入総額に占める割合は、15.4%であった。

市税収入額の内訳は、個人市民税1,671,436,916円、法人市民税153,166,500円、固定資産税1,789,379,159円、都市計画税206,132,422円などである。

不納欠損額は14,826,345円で、前年度に比べると2,547,535円増加している。

なお、税目別の不納欠損状況は、次表のとおりである。

税目別不納欠損状況

(単位：円)

科目(項) \ 年度	令和5年度	令和4年度
市 民 税	2,743,815	1,570,293
固 定 資 産 税	9,547,268	8,479,374
都 市 計 画 税	1,282,906	1,245,143
軽 自 動 車 税	1,252,356	984,000
合 計	14,826,345	12,278,810

第2款 地方譲与税

予算現額142,528,000円に対し、収入済額は162,664,000円で、前年度と比べると1,397,000円(0.9%)の増となっている。

第3款 利子割交付金

予算現額450,000円に対し、収入済額は1,357,000円で、前年度と比べると238,000円(14.9%)の減となっている。

第4款 配当割交付金

予算現額20,000,000円に対し、収入済額は23,876,000円で、前年度と比べると4,306,000円(22.0%)の増となっている。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

予算現額16,000,000円に対し、収入済額は27,534,000円で、前年度と比べると10,518,000円(61.8%)の減となっている。

第6款 法人事業税交付金

予算現額57,000,000円に対し、収入済額は68,158,000円で、前年度と比べると12,615,000円(22.7%)の増となっている。

第7款 地方消費税交付金

予算現額805,000,000円に対し、収入済額は819,587,000円で、前年度と比べると385,000円（0.0％）の減となっている。

第8款 環境性能割交付金

予算現額14,000,000円に対し、収入済額は18,274,000円であり、前年度と比べると39,000円（0.2％）の増となっている。

第9款 地方特例交付金

予算現額32,000,000円に対し、収入済額は33,974,000円で、前年度と比べると735,000円（2.2％）の増となっている。

第10款 地方交付税

予算現額5,500,000,000円に対し、収入済額は6,267,799,000円で、前年度と比べると8,634,000円（0.1％）の増となっている。

第11款 交通安全対策特別交付金

予算現額2,600,000円に対し、収入済額は2,579,000円で、前年度と比べると67,000円（2.5％）の減となっている。

第12款 分担金及び負担金

予算現額157,368,000円に対し、収入済額は149,129,143円で、前年度と比べると18,904,830円（11.3％）の減となっている。

負担金の主なものは、老人保護措置負担金・公立保育所保護者負担金などの民生費負担金52,758,398円、畑かん賦課金などの農林水産業費負担金10,259,112円、小中学校給食費負担金などの教育費負担金85,476,132円などである。

なお、収入未済額は6,153,818円となっており、主なものは児童福祉費負担金、給食費負担金などである。

第13款 使用料及び手数料

予算現額260,639,000円に対し、収入済額は265,576,077円で、前年度と比べると2,535,572円（0.9％）の減となっている。内訳は、使用料183,039,182円、手数料82,536,895円となっている。

なお、収入未済額76,480,570円の主なものは、住宅使用料である。

第14款 国庫支出金

予算現額3,203,453,314円に対し、収入済額は2,809,320,149円で、前年度と比べると687,603,984円（19.7％）の減となっている。内訳は、国庫負担金1,746,358,156円、国庫補助金1,052,168,336円、国庫委託金10,793,657円である。

第15款 県支出金

予算現額1,271,841,000円に対し、収入済額は1,239,275,906円で、前年度と比べると3,958,082円（0.3％）の減となっている。内訳は、県負担金740,414,755円、県補助金425,249,620円、県委託金73,611,531円である。

第16款 財産収入

予算現額14,868,000円に対し、収入済額は15,012,996円で、前年度と比べると29,392,582円（66.2％）の減となっている。内訳は、財産運用収入13,264,085円、財産売払収入1,748,911円である。

第17款 寄附金

予算現額4,185,001,000円に対し、収入済額は4,571,436,857円で、前年度と比べると964,022,741円（26.7％）の増となっている。内訳は、一般寄附金5,084,788円、ふるさと納税寄附金が4,390,952,380円、指定寄附金175,399,689円である。

第18款 繰入金

予算現額3,765,751,000円に対し、収入済額は3,638,292,697円となっており、前年度と比べると442,392,493円（13.8％）の増となっている。内訳の主なものは、基金繰入金3,638,192,697円である。

第19款 繰越金

予算現額2,048,225,141円に対し、収入済額は2,048,225,510円となっており、前年度と比べると235,128,081円（13.0％）の増となっている。

第20款 諸収入

予算現額268,623,000円に対し、収入済額は286,198,878円で、前年度と比べると36,167,700円（11.2％）の減となっている。内訳の主なものは、貸付金元利収入115,007,696円、雑入140,533,247円である。

第21款 市債

予算現額910,200,000円に対し、収入済額は698,400,000円で、前年度と比べると21,976,000円（3.1％）の減となっている。内訳の主なものは、土木債198,600,000円、過疎対策事業債142,500,000円、緊急防災・減災事業債207,300,000円である。市債が歳入総額に占める比率は2.6％となっている。

(3) 歳 出

歳出決算額を款別に見ると、次のとおりである。

第1款 議会費

予算現額164,680,000円に対し、支出済額は162,644,989円で、執行率は98.8%であった。
不用額は2,035,011円である。

支出の主なものは人件費で、支出済額の91.4%である。

第2款 総務費

総務費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円, %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
1. 総務管理費	4,249,700,000	3,980,517,310	93.7	157,104,200	112,078,490
2. 徴税費	224,432,000	216,167,505	96.3	0	8,264,495
3. 戸籍住民基本台帳費	141,167,000	123,108,141	87.2	0	18,058,859
4. 選挙費	21,673,000	20,555,190	94.8	0	1,117,810
5. 統計調査費	3,476,000	2,687,567	77.3	0	788,433
6. 監査委員費	6,899,000	6,267,153	90.8	0	631,847
合 計	4,647,347,000	4,349,302,866	93.6	157,104,200	140,939,934

予算現額4,647,347,000円に対し、支出済額は4,349,302,866円で、執行率は93.6%であった。不用額は140,939,934円である。

第3款 民生費

民生費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円, %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
1. 社会福祉費	3,940,841,000	3,715,526,905	94.3	130,197,000	95,117,095
2. 児童福祉費	2,299,726,000	2,223,127,077	96.7	2,651,000	73,947,923
3. 生活保護費	460,513,000	414,927,111	90.1	0	45,585,889
4. 国民年金事務取扱費	18,729,000	18,191,149	97.1	0	537,851
5. 災害救助費	110,000	0	0.0	0	110,000
合 計	6,719,919,000	6,371,772,242	94.8	132,848,000	215,298,758

予算現額6,719,919,000円に対し、支出済額は6,371,772,242円で、執行率は94.8%であった。不用額は215,298,758円である。

第4款 衛生費

衛生費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，％)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
1. 保健衛生費	1,495,449,000	1,339,090,714	89.5	15,001,140	141,357,146
2. 清 掃 費	390,424,000	386,112,724	98.9	0	4,311,276
合 計	1,885,873,000	1,725,203,438	91.5	15,001,140	145,668,422

予算現額1,885,873,000円に対し、支出済額は1,725,203,438円で、執行率は91.5％であった。不用額は145,668,422円である。

第5款 労働費

予算現額53,227,000円に対し、支出済額は49,268,056円で、執行率は92.6％であった。
翌年度繰越額は3,168,000円であり、不用額は790,944円である。

第6款 農林水産業費

農林水産業費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，％)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
1. 農 業 費	898,123,000	663,350,369	73.9	220,908,984	13,863,647
2. 林 業 費	75,539,000	69,735,219	92.3	0	5,803,781
3. 市有林管理費	11,266,000	10,907,650	96.8	0	358,350
4. 国土調査費	26,507,000	25,515,789	96.3	0	991,211
合 計	1,011,435,000	769,509,027	76.1	220,908,984	21,016,989

予算現額1,011,435,000円に対し、支出済額は769,509,027円で、執行率は76.1％であった。不用額は21,016,989円である。農業費の翌年度繰越額は、県営土地改良事業費である。

第7款 商工費

予算現額760,328,000円に対し、支出済額は676,878,778円で、執行率は89.0％であった。
不用額は83,449,222円である。

第8款 土木費

土木費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，％)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
1. 土木管理費	68,205,000	63,745,565	93.5	3,000,000	1,459,435
2. 道路橋梁費	591,294,807	424,285,763	71.8	145,877,200	21,131,844
3. 河 川 費	28,407,000	27,899,128	98.2	0	507,872
4. 都市計画費	1,304,026,933	1,152,495,701	88.4	104,128,827	47,402,405
5. 住 宅 費	81,006,000	70,824,350	87.4	0	10,181,650
合 計	2,072,939,740	1,739,250,507	83.9	253,006,027	80,683,206

予算現額2,072,939,740円に対し、支出済額は1,739,250,507円で、執行率は83.9％であった。不用額は80,683,206円である。翌年度繰越額の主なものは、道路維持費、道路建設改良費、山梨市駅南地域整備事業費等である。

第9款 消防費

予算現額923,879,788円に対し、支出済額は912,878,109円で、執行率は98.8%であった。不用額は11,001,679円である。

第10款 教育費

教育費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
1. 教育総務費	333,007,000	326,251,609	98.0	0	6,755,391
2. 小学校費	280,141,000	267,132,566	95.4	0	13,008,434
3. 中学校費	137,487,000	128,177,247	93.2	0	9,309,753
4. 幼稚園費	45,105,000	41,829,882	92.7	0	3,275,118
5. 社会教育費	341,915,000	329,223,203	96.3	0	12,691,797
6. 保健体育費	550,022,000	508,781,603	92.5	24,611,000	16,629,397
合 計	1,687,677,000	1,601,396,110	94.9	24,611,000	61,669,890

予算現額1,687,677,000円に対し、支出済額は1,601,396,110円で、執行率は94.9%であった。不用額は61,669,890円で、保健体育費の翌年度繰越額は、体育施設費である。

第11款 災害復旧費

災害復旧費の項別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，%)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額
1. 農林施設災害復旧費	400,000	0	0.0	0	400,000
2. 公共土木施設災害復旧費	29,955,000	5,119,601	17.1	20,370,000	4,465,399
合 計	30,355,000	5,119,601	16.9	20,370,000	4,865,399

予算現額30,355,000円に対し、支出済額は5,119,601円で、執行率は16.9%であった。不要額は4,865,399円である。

第12款 公債費

予算現額2,445,132,000円に対し、支出済額は2,445,051,217円で、執行率は100%であった。不用額は80,783円である。

第13款 諸支出金

諸支出金の項は基金費のみである。予算現額4,072,172,000円に対し、支出済額は4,071,898,481円で、執行率は100%であった。不用額は273,519円である。

第14款 予備費

予備費の執行については緊急を要することへの充用はあるが、予算現額178,678,927円は未執行であった。

3 特 別 会 計

(1) 国民健康保険特別会計

平成30年度の国民健康保険制度改正により、県が財政運営の主体となっている。

歳 入

区 分	令和5年度	令和4年度	(単位：円, %)	
			対前年度比較	
			増減額	比率
予 算 現 額	4,497,917,000	4,539,643,000	△ 41,726,000	99.1
調 定 額	4,417,042,244	4,337,720,543	79,321,701	101.8
収 入 済 額	4,269,839,752	4,171,638,532	98,201,220	102.4
不納欠損額	9,279,689	13,102,484	△ 3,822,795	70.8
収入未済額	137,922,803	152,979,527	△ 15,056,724	90.2

歳入決算額は、4,269,839,752円で、前年度に比べ98,201,220円の増であり、調定額4,417,042,244円に対する収入率は96.7%となっている。

歳入の内、国民健康保険税（次頁表参照）を見ると、令和5年度の収入率は87.1%となっている。収入率は、令和4年度と比較すると1.5%の増、不納欠損額は9,279,689円で、令和4年度と比較すると3,822,795円減少した。

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円，％)

区 分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入 済額との比較	対予算現額		対調定 収入率	収入済額の 構成比
							調定率	収入率		
1. 国民健康 保険税	877,577,000	1,138,789,104	992,004,497	9,279,689	137,504,918	114,427,497	129.8	113.0	87.1	23.2
2. 使用料及び 手数料	190,000	197,853	197,853	0	0	7,853	104.1	104.1	100.0	0.1
3. 国庫支出金	212,000	324,000	324,000	0	0	112,000	152.8	152.8	100.0	0.0
4. 県支出金	3,197,398,000	2,872,384,055	2,872,384,055	0	0	△ 325,013,945	89.8	89.8	100.0	67.3
5. 財産収入	1,000	67,569	67,569	0	0	66,569	6,756.9	6,756.9	100.0	0.0
6. 繰入金	285,408,000	256,241,535	256,241,535	0	0	△ 29,166,465	89.8	89.8	100.0	6.0
7. 繰越金	133,651,000	133,651,114	133,651,114	0	0	114	100.0	100.0	100.0	3.1
8. 諸収入	3,480,000	15,387,014	14,969,129	0	417,885	11,489,129	442.2	430.1	97.3	0.4
歳 入 合 計	4,497,917,000	4,417,042,244	4,269,839,752	9,279,689	137,922,803	△ 228,077,248	98.2	94.9	96.7	100.0

歳入の主なものは、国民健康保険税992,004,497円(構成比23.2%)、県支出金2,872,384,055円(構成比67.3%)である。これを前年度と比較すると、国民健康保険税7,178,887円(0.7%)増加、県支出金58,887,122円(2.1%)増加となっている。なお、制度改正により歳出の保険給付費は、平成30年度から県支出金として交付されている。

歳 出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円，％)

区 分 科目(款)	予算現額	支出済額 A	構成比	翌年度 繰越額	不 用 額	執行率	令和4年度 支 出 済 額 B	対前年度比較	
								増 減 額 A－B	比 率 A／B
1. 総務費	50,765,000	45,536,794	1.1	0	5,228,206	89.7	52,505,511	△ 6,968,717	86.7
2. 保険給付費	3,137,392,000	2,781,064,484	67.5	0	356,327,516	88.6	2,732,878,204	48,186,280	101.8
3. 国民健康保険 事業費納付金	1,231,653,000	1,231,651,719	29.9	0	1,281	100.0	1,149,078,650	82,573,069	107.2
4. 共同事業拠出金	2,000	59	0.0	0	1,941	3.0	117	△ 58	50.4
5. 保健事業費	64,618,000	53,450,575	1.3	0	11,167,425	82.7	53,001,498	449,077	100.8
6. 基金積立金	1,000	0	0.0	0	1,000	0.0	42,000,000	△ 42,000,000	0.0
7. 諸支出金	8,486,000	7,520,059	0.2	0	965,941	88.6	8,523,438	△ 1,003,379	88.2
8. 予備費	5,000,000	0	0.0	0	5,000,000	0.0	0	0	—
歳 出 合 計	4,497,917,000	4,119,223,690	100.0	0	378,693,310	91.6	4,037,987,418	81,236,272	102.0

歳出は、予算現額4,497,917,000円に対し、歳出決算額は4,119,223,690円で、執行率は91.6％であった。これを前年度決算額と比べると81,236,272円（2.0％）の増加となっている。

保険給付費は2,781,064,484円（構成比67.5％）で、前年度と比べると48,186,280円（1.8％）の増加、国民健康保険事業費納付金は1,231,651,719円で、前年度と比べると82,573,069円（7.2％）の増加となっている。

(2) 後期高齢者医療特別会計

当会計は、平成20年度に新たに設けられた特別会計である。

令和5年度の決算状況は、予算現額573,680,000円に対し、決算額は収入済額が559,870,733円、支出済額が557,424,039円となり、歳入歳出差引額は2,446,694円であった。

歳入

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円，％)

区 分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額 A	不 納 欠 損 額	収入未済額	収入済額 の構成比	対予算現 額調定率	令和4年度 収 入 済 額 B	対前年度比較	
									増減額 A－B	比 率 A／B
1. 後期高齢者 医療保険料	442,234,000	438,490,467	433,005,058	526,189	4,959,220	77.3	99.2	406,812,812	26,192,246	106.4
2. 使用料及び 手数料	11,000	13,700	13,700	0	0	0.0	124.5	70,200	△ 56,500	19.5
3. 繰入金	119,289,000	117,123,066	117,123,066	0	0	20.9	0.0	112,910,172	4,212,894	103.7
4. 繰越金	1,740,000	1,739,669	1,739,669	0	0	0.3	100.0	1,730,920	8,749	100.5
5. 諸収入	10,406,000	7,989,240	7,989,240	0	0	1.4	76.8	6,166,390	1,822,850	100.5
歳 入 合 計	573,680,000	565,356,142	559,870,733	526,189	4,959,220	100.0	98.5	527,690,494	32,180,239	106.1

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料が433,005,058円(構成比77.3%)で、前年度に比べ26,192,246円(6.4%)の増加、繰入金が117,123,066円(構成比20.9%)で、前年度に比べ4,212,894円(3.7%)の増加であった。

歳出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円，％)

区 分 科目(款)	予算現額	支出済額 A	支出済額 の構成比	翌年度 繰越額	不用額	執行率	令和4年度 支 出 済 額 B	対前年度比較	
								増減額 A－B	比 率 A／B
1. 総務費	5,690,000	4,861,915	0.9	0	828,085	85.4	4,942,033	△ 80,118	98.4
2. 後期高齢者医療 広域連合納付金	545,502,000	533,823,856	95.8	0	11,678,144	97.9	506,665,355	27,158,501	105.4
3. 保健事業費	21,190,000	18,389,028	2.3	0	2,800,972	86.8	14,009,347	4,379,681	131.3
4. 諸支出金	1,198,000	349,240	0.1	0	848,760	29.2	334,090	15,150	104.5
5. 予備費	100,000	0	0.0	0	100,000	0.0	0	0	—
歳 出 合 計	573,680,000	557,424,039	100.0	0	16,255,961	97.2	525,950,825	31,473,214	106.0

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金が533,823,856円(構成比95.8%)で、前年度に比べ27,158,501円(5.4%)の増加であった。

(3) 交通・火災災害共済事業特別会計

令和5年度の決算状況は、予算現額18,516,000円に対し、決算額は収入済額が10,354,714円（前年度に比べ356,289円、3.3%の減）、支出済額が5,347,933円（前年度に比べ1,716,458円、24.3%の減）となり、歳入歳出差引額は5,006,781円であった。

歳 入

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円, %)

区 分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額 A	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入済額 の構成比	対予算 現額調 定率	令和4年度 収 入 済 額 B	対前年度比較	
									増減額 A－B	比率 A／B
1. 共済会費収入	10,750,000	10,350,500	10,350,500	0	0	99.9	96.3	10,707,000	△ 356,500	96.7
2. 繰入金	7,736,000	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	－
3. 諸収入	30,000	4,214	4,214	0	0	0.1	14.0	4,003	211	105.3
歳 入 合 計	18,516,000	10,354,714	10,354,714	0	0	100.0	55.9	10,711,003	△ 356,289	96.7

歳入の主なものは、共済会費収入が10,350,500円（構成比99.9%）で、前年度に比べ356,500円（3.3%）の減少であった。

歳 出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円, %)

区 分 科目(款)	予算現額	支出済額 A	支出済額 の構成比	翌年度 繰越額	不用額	執行率	令和4年度 支 出 済 額 B	対前年度比較	
								増減額 A－B	比率 A／B
1. 共済事業費	18,286,000	5,343,719	99.9	0	12,942,281	29.2	7,060,388	△ 1,716,669	75.7
2. 基金積立金	30,000	4,214	0.1	0	25,786	14.0	4,003	211	105.3
3. 予備費	200,000	0	0.0	0	200,000	0.0	0	0	－
歳 出 合 計	18,516,000	5,347,933	100.0	0	13,168,067	28.9	7,064,391	△ 1,716,458	75.7

歳出の主なものは、共済事業費が5,343,719円（構成比99.9%）で、前年度に比べ1,716,669円（24.3%）の減少であった。

令和５年度の交通・火災災害共済事業の加入者数は20,701人、加入率は62.0%であった。

災害見舞金の支給状況は、次表のとおりである。

交通災害見舞金支給状況

傷害の程度	見舞金	件数	支給見舞金
1 等級（死亡）	1,000,000 円	0	0 円
2 等級（治療日数 240日以上）	218,000 円	0	0 円
3 等級（ // 180日～239日）	164,000 円	0	0 円
4 等級（ // 120日～179日）	101,000 円	3	303,000 円
5 等級（ // 90日～119日）	76,000 円	6	456,000 円
6 等級（ // 60日～89日）	51,000 円	7	357,000 円
7 等級（ // 30日～59日）	39,000 円	19	741,000 円
8 等級（ // 15日～29日）	26,000 円	6	156,000 円
9 等級（ // 1日～14日）	20,000 円	28	560,000 円
特別見舞金（一定以上の後遺障害）	313,000 円	0	0 円
葬祭費用 （無免許運転などにより見舞金を支給 できない死亡事故の場合に支払）	250,000 円	0	0 円
合 計		69	2,573,000 円
入院加算金	入院日数により10,000円～100,000円	3	180,000 円

火災災害見舞金支給状況

等 級	件数	支給見舞金
1 等級（全 焼）500,000円＋会員一人当たり 25,000円	0	0 円
2 等級（半 焼）200,000円＋会員一人当たり 10,000円	1	210,000 円
3 等級（部分焼）100,000円＋会員一人当たり 5,000円	1	110,000 円
特別見舞金 死亡者が出た場合、その世帯に 300,000円	0	0 円
合 計	2	320,000 円

(4) 浄化槽事業特別会計

令和5年度の決算状況は、予算現額63,342,000円に対し、決算額は収入済額・支出済額ともに62,384,267円で、歳入歳出差引額は0円であった。収入済額は前年度に比べ3,903,189円（6.7%）の増加、支出済額は前年度に比べ3,903,189円（6.7%）の増加となった。

歳 入

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円, %)

区 分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額 A	不納欠損額	収入未済額	収入済 額の構 成比	対予算 現額調 定率	令和4年度 収入済額 B	対前年度比較	
									増減額 A－B	比率 A／B
1. 分担金及 び負担金	45,000	90,000	0	0	90,000	0.0	200.0	15,000	△ 15,000	0.0
2. 使用料及 び手数料	26,117,000	27,577,057	26,677,900	266,395	632,762	42.8	105.6	27,025,633	△ 347,733	98.7
3. 繰入金	36,814,000	35,345,409	35,345,409	0	0	56.7	96.0	30,852,366	4,493,043	114.6
4. 繰越金	1,000	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	－
5. 諸収入	365,000	360,958	360,958	0	0	0.6	98.9	588,079	△ 227,121	61.4
歳 入 合 計	63,342,000	63,373,424	62,384,267	266,395	722,762	100.0	100.0	58,481,078	3,903,189	106.7

歳入の主なものは、一般会計からの繰入金が35,345,409円（構成比56.7%）で、前年度に比べ4,493,043円（14.6%）の増加、使用料及び手数料が26,677,900円（構成比42.8%）で、前年度に比べ347,733円（1.3%）の減少であった。

なお、分担金及び負担金で90,000円が、使用料及び手数料で632,762円が収入未済額となっている。

歳 出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円, %)

区 分 科目(款)	予算現額	支出済額 A	支出済額 の構成比	翌年度繰 越額	不用額	執行率	令和4年度 支出済額 B	対前年度比較	
								増減額 A－B	比率 A／B
1. 総務費	43,053,000	42,197,855	67.6	0	855,145	98.0	38,428,344	3,769,511	109.8
2. 公債費	20,189,000	20,186,412	32.4	0	2,588	100.0	20,052,734	133,678	100.7
3. 予備費	100,000	0	0.0	0	100,000	0.0	0	0	－
歳 出 合 計	63,342,000	62,384,267	100.0	0	957,733	98.5	58,481,078	3,903,189	106.7

歳出は、総務費が42,197,855円（構成比67.6%）で、前年度に比べ3,769,511円（9.8%）の増加、公債費が20,186,412円（構成比32.4%）で、前年度に比べ133,678円（0.7%）の増加であった。

(5) 介護保険特別会計

令和5年度の決算状況は、予算現額4,194,371,000円に対し、決算額は収入済額が4,316,249,752円（前年度に比べ31,885,095円、0.7%の増）、支出済額は4,040,519,780円（前年度に比べ3,494,153円、0.1%の増）となり、歳入歳出差引額は275,729,972円であった。

歳入

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額 A	不納欠損額	収入未済額	収入済 額の構 成比	対予算 現額調 定率	令和4年度 収 入 済 額 B	対前年度比較	
									増減額 A－B	比率 A／B
1. 保険料	828,055,000	862,609,105	848,641,060	3,592,755	10,375,290	19.7	104.2	839,985,042	8,656,018	101.0
2. 分担金及び負担金	121,000	104,400	104,400	0	0	0.0	86.3	128,100	△ 23,700	81.5
3. 使用料及び手数料	80,000	17,870	17,870	0	0	0.0	22.3	68,900	△ 51,030	25.9
4. 国庫支出金	943,697,000	981,683,005	981,683,005	0	0	22.7	104.0	1,024,782,928	△ 43,099,923	95.8
5. 支払基金 交付金	933,379,000	985,099,306	985,099,306	0	0	22.8	105.5	1,018,234,002	△ 33,134,696	96.7
6. 県支出金	543,428,000	579,541,799	579,541,799	0	0	13.4	106.6	589,103,736	△ 9,561,937	98.4
7. 財産収入	1,000	17,125	17,125	0	0	0.0	1,712.5	1,423	15,702	1,203.4
8. 繰入金	698,264,000	672,837,632	672,837,632	0	0	15.6	96.4	664,048,415	8,789,217	101.3
9. 繰越金	247,339,000	247,339,030	247,339,030	0	0	5.7	100.0	147,541,758	99,797,272	167.6
10. 諸収入	7,000	968,525	968,525	0	0	0.1	13,836.1	470,353	498,172	205.9
歳 入 合 計	4,194,371,000	4,330,217,797	4,316,249,752	3,592,755	10,375,290	100.0	103.2	4,284,364,657	31,885,095	100.7

歳入の主なものは、保険料が848,641,060円（構成比19.7%）で、前年度に比べ8,656,018円（1.0%）の増加、国庫支出金が981,683,005円（構成比22.7%）で、前年度に比べ43,099,923円（4.2%）の減少、支払基金交付金が985,099,306円（構成比22.8%）で、前年度に比べ33,134,696円（3.3%）の減少、繰入金が672,837,632円（構成比15.6%）で、前年度に比べ8,789,217円（1.3%）の増加であった。

なお、保険料で3,592,755円が不納欠損額、10,375,290円が収入未済額となっている。

歳 出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円、％)

区分 科目(款)	予算現額	支出済額 A	支出済額 の構成比	翌年度繰 越額	不用額	執行率	令和4年度 支 出 済 額 B	対前年度比較	
								増減額 A－B	比率 A／B
1. 総務費	166,512,000	161,533,553	4.0	0	4,978,447	97.0	140,510,721	21,022,832	115.0
2. 保険給付費	3,680,592,000	3,546,538,956	87.8	0	134,053,044	96.4	3,629,669,763	△ 83,130,807	97.7
3. 地域支援事業費	131,747,000	117,876,344	2.9	0	13,870,656	89.5	118,643,832	△ 767,488	99.4
4. 基金積立金	93,251,000	93,251,000	2.3	0	0	100.0	81,876,085	11,374,915	113.9
5. 諸支出金	121,769,000	121,319,927	3.0	0	449,073	99.6	66,325,226	54,994,701	182.9
6. 予備費	500,000	0	0.0	0	500,000	0.0	0	0	－
歳 出 合 計	4,194,371,000	4,040,519,780	100.0	0	153,851,220	96.3	4,037,025,627	3,494,153	100.1

歳出の主なものは、総務費が161,533,553円（構成比4.0％）で、前年度に比べ21,022,832円（15.0％）の増加、保険給付費が3,546,538,956円（構成比87.8％）で、前年度に比べ83,130,807円（2.3％）の減少、地域支援事業費が117,876,344円（構成比2.9％）で、前年度に比べ767,488円（0.6％）の減少、諸支出金が121,319,927円（構成比3.0％）で、前年度に比べ54,994,701円（82.9％）の増加であった。

(6) 居宅介護予防支援事業特別会計

令和5年度の決算状況は、予算現額16,025,000円に対し、決算額は収入済額、支出済額ともに15,396,802円で、歳入歳出差引額は0円であった。収入済額、支出済額ともに前年度に比べ991,089円(6.9%)の増加となった。

歳 入

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円，%)

区分 科目(款)	予算現額	調 定 額	収入済額 A	不納欠損額	収入済額 の構成比	対予算現 額調定率	令和4年度 収入済額 B	対前年度比較	
								増減額 A－B	比率 A／B
1. サービス収入	11,054,000	9,652,920	9,652,920	0	62.7	87.3	8,649,960	1,002,960	111.6
2. 繰入金	4,971,000	5,743,882	5,743,882	0	37.3	115.5	5,755,753	△ 11,871	99.8
歳 入 合 計	16,025,000	15,396,802	15,396,802	0	100.0	96.1	14,405,713	991,089	106.9

歳入は、サービス収入が9,652,920円(構成比62.7%)で、前年度に比べ1,002,960円(11.6%)の増加、一般会計からの繰入金が5,743,882円(構成比37.3%)で、前年度に比べ11,871円(0.2%)の減少であった。

歳 出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

(単位：円，%)

区分 科目(款)	予算現額	支出済額 A	支出済額 の構成比	翌年度 繰越額	不用額	執行率	令和4年度 支出済額 B	対前年度比較	
								増減額 A－B	比率 A／B
1. 総務費	7,549,000	7,251,262	47.1	0	297,738	96.1	6,596,443	654,819	109.9
2. 事業費	8,426,000	8,145,540	52.9	0	280,460	96.7	7,809,270	336,270	104.3
3. 予備費	50,000	0	0.0	0	50,000	0.0	0	0	—
歳 出 合 計	16,025,000	15,396,802	100.0	0	628,198	96.1	14,405,713	991,089	106.9

歳出は、総務費が7,251,262円(構成比47.1%)で、前年度に比べ654,819円(9.9%)の増加、事業費(居宅サービス事業費)が8,145,540円(構成比52.9%)で、前年度に比べ336,270円(4.3%)の増加であった。

（７）活性化事業特別会計

令和５年度の決算状況は、予算現額106,218,000円に対し、決算額は収入済額、支出済額ともに99,426,999円で、歳入歳出差引額は０円であった。収入済額は前年度に比べ2,916,314円（3.0％）の増加となった。

歳 入

歳入の款別の決算状況は、次のとおりである。

区 分 科目(款)		予算現額	調 定 額	収入済額 A	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入済 額の構 成比	対予算 現額調 定率	令和４年度 収入済額 B	(単位：円, ％) 対前年度比較	
										増 減 額 A－B	比 率 A／B
1. 使用料及び 手数料		26,505,000	29,324,989	29,324,989	0	0	29.5	110.6	21,498,096	7,826,893	136.4
2. 繰入金		71,375,000	60,934,943	60,934,943	0	0	61.3	85.4	68,647,153	△ 7,712,210	88.8
3. 諸収入		8,338,000	9,167,067	9,167,067	0	0	9.2	109.9	6,365,436	2,801,631	144.0
歳 入 合 計		106,218,000	99,426,999	99,426,999	0	0	100.0	93.6	96,510,685	2,916,314	103.0

歳入は、使用料及び手数料が29,324,989円（構成比29.5％）で、前年度に比べ7,826,893円（36.4％）の増加、一般会計からの繰入金が60,934,943円（構成比61.3％）で、前年度に比べ7,712,210円（11.2％）の減少、諸収入が9,167,067円（構成比9.2％）で、前年度に比べ2,801,631円（44.0％）の増加であった。

歳 出

歳出の款別の決算状況は、次のとおりである。

区 分 科目(款)		予算現額	支出済額 A	支出済額 の構成比	翌 年 度 繰 越 額	不用額	執行率	令和４年度 支出済額 B	(単位：円, ％) 対前年度比較	
									増 減 額 A－B	比 率 A／B
1. 総務費		106,167,000	99,426,999	100.0	0	6,740,001	93.7	94,629,685	4,797,314	105.1
2. 公債費		1,000	0	0.0	0	1,000	0.0	0	0	—
3. 予備費		50,000	0	0.0	0	50,000	0.0	0	0	—
歳 出 合 計		106,218,000	99,426,999	100.0	0	6,791,001	93.6	94,629,685	4,797,314	105.1

歳出は、総務費のみで99,426,999円であった。この額を前年度と比べると、4,797,314円（5.1％）の増加となっている。

4 財産に関する調書

財産に関する調書の記載事項、計数を審査した結果、いずれも誤りがないものと認められた。公有財産、物品及び基金に関する決算年度中の増減、年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

(単位：千円, m)

分 類	区 分	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
土 地	本庁舎・学校・公営住宅などの土地	2,546,108.59	27,438.55	2,573,547.14
建 物	本庁舎・学校・公営住宅などの建物	191,702.56	994.10	192,696.66
有 価 証 券	金銭信託・株券	108,014	0	108,014
出資による権利	出資金・出捐金	79,260	0	79,260

①土地 前年度に比べて27,438.55㎡の増加となっている。主なものは、旧日本カーボン跡地の購入、民間企業が購入し活用していた旧牧丘第3中学校用地の寄付などである。

②建物 前年度に比べて994.10㎡の増加となっており、民間企業が購入し活用していた旧牧丘第3中学校校舎の寄付である。

③有価証券 決算年度中の増減はなく、前年度と同額である。

④出資等による権利 決算年度中の増減はなく、前年度と同額である。

(2) 物 品

物品（取得価格50万円以上）の決算年度末現在高は、54品目・318点となっている。

なお、所有物品の中には、取得時における資産価値の高い物品も保有されている。これらの物品に関しても適切に保管・管理するとともに、有効的な活用についても検討されることを望むものである。

また、日頃より使用する消耗品などの貯蔵物品類に関し、購入等に関しても適切に行われていくよう努められたい。

(3) 基 金

(単位：㎡)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
不動産 土 地	63,931.53	22,363.18	86,294.71
建 物	1,483.10	0.00	1,483.10
合 計	65,414.63	22,363.18	87,777.81

(単位：千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
財政調整基金	2,768,598	201	2,768,799
市債管理基金	954,354	92	954,446
地域福祉基金	452,564	0	452,564
土地開発基金	710,684	7,281	717,965
国民健康保険財政調整基金	594,380	0	594,380
交通・火災災害共済見舞金支払準備基金	80,624	3,651	84,275
介護保険給付費支払準備基金	238,607	93,267	331,874
中山間地域農村活性化基金	15,546	0	15,546
若者定住促進支援基金	26,624	832	27,456
地域振興基金	1,157,000	△ 50,000	1,107,000
山梨市太陽光発電施設等整備基金	27,178	3,050	30,228
山梨市ふるさと輝き基金	3,399,829	210,233	3,610,062
子ども笑顔づくり基金	3,505	△ 1,416	2,089
森林環境譲与税基金	41,694	4,534	46,228
教育ゆめ基金	4,033	10,468	14,501
公共施設整備基金	0	100,000	100,000
山梨市障害福祉推進基金	0	164,400	164,400
合 計	10,475,220	546,593	11,021,813

・ 土地開発基金

土地開発基金は、地方自治法第241条の規定に基づき、公用若しくは公共用に供する土地、または公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得し、事業の円滑な執行を図るために設置された基金である。この基金の運用状況を示す書類について審査の結果、計数に誤りがなく、設置目的どおり運用されていた。

運用状況は、次表のとおりである。

区 分	令和5年度末現在高
現 金	717,965 千円
土 地	86,294.71 ㎡

5 審 査 意 見

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症についての感染症法上の位置づけが5類へ移行することが検討されていた中での予算編成となったが、本市の財政状況を的確に見据え、アフターコロナへ向けた感染防止対策と経済対策の両立を図るために「第2次山梨市まちづくり総合計画」及び「第2期中期計画」に沿った適切な事業展開が進められていた。

また、令和3年に勃発したウクライナ侵攻に端を発する物価高騰や日米金利差等を背景とした歴史的円高により、見通しが不透明さを増す中で、財源の確保に加え予算執行面においてもこれまでに無い舵取りを求められることとなった。今後の行政に求められるニーズはさらに多様化かつ複雑化してくることが予想されるため、時代の変化に沿った迅速な対応に努められたい。

令和5年度の決算審査の結果は、各会計決算書等いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は正確であると認められた。

また、予算執行状況についても適正であると認められた。今後も以下の点に留意し、状況に応じた柔軟かつ積極的な取り組みに期待します。

(1) 一 般 会 計

◇ 歳 入

- ① 歳入の決算額は27,370,602,392円で、前年度に比べ905,037,813円（3.4%）増加している。要因として、ふるさと納税寄附金の増加や前年度からの繰越金の増加などが見受けられるが、今後これまで以上に先行の見通しが不透明となっているため、国の動向も注視しつつ、財源確保へ積極的に取り組まれたい。
- ② 歳入決算額に占める市税の収入額は4,223,932,179円で、歳入全体の15.4%を占めており、前年度に比べ26,479,248円（0.6%）増加しているが、調定額に対する収入率は97.0%で、収入未済額は113,587,734円と前年度に比べ11,513,716円減少しているが、不能欠損額においては14,826,345円と前年度に比べ2,547,535円増加している。新システムの導入による作業効率の向上を進める中で、納税者への意識啓発等の強化とともに、引き続き収入率の向上に積極的に取り組まれたい。
- ③ 市税以外の収入未済額の主なものは、公立保育所保護者負担金などの児童福祉費負担金6,153,818円、畑かん賦課金などの農業費負担金847,390円、小中学校給食費負担金2,199,026円、住宅使用料76,371,570円などがある。

これらについても、公平性の確保と安定的な財源確保を図ることが重要であるため、引き続き丁寧な対応に努め、収入未済額及び滞納繰越分も含め、不能欠損となる金額を最低限に抑えられるよう全庁通じて努力されたい。

- ④ 年度末地方債残高は19,891,728,405円となっており、公債費負担比率13.1%、公債費比率9.7%、実質公債費比率は12.3%であったが、単年度数値では上昇が続いている。将来負担比率は27.3%（前年比△15.6%）で、ふるさと納税寄附金などの特定目的基金の増加などにより大幅に改善されている。

今後の財政状況を考えると、実質公債費比率は基準財政需要額算入公債費の減少、国の交付税の削減などの影響を受け数値が上昇することが見込まれるため、市債残高の推移に注視するよう努められたい。

◇ 歳 出

- ① 歳出の決算額は24,880,173,421円であり、前年度に比べて462,834,352円（1.9%）の増加となっている。今後も厳しい財政状況が続くことが予想されるため、各種事業の実施あたっては、事業の必要性や費用対効果を検証した上で、効率的な市民サービスに努められたい。
- ② 歳出面においては、中長期的な財政見通しを常に念頭に置き、創意工夫により編成された予算の下、各種計画に沿った適切な予算の着実な執行に努められたい。
- ③ 施策や事業の終了時には、有効性、効率性などの総括を関係各課で実施し、方法や必要経費の見直しなどを通じて、更なる歳出経費削減の取り組みを推進されたい。
- また、機構改革等の実施により、施策や事業の所管替えがある場合には、担当課を明確にし市民に対し明瞭な事業執行を行っていくことに努められたい。
- ④ 本市におけるふるさと納税寄附額は、令和5年度においても過去最大の受け入れ額となったが、比例して、事業展開に係る諸経費についても増大している。創意工夫により、経費面での圧縮に向けた取り組みへも努められ、寄附額がより多くの本市各施策に活用されてるよう努められたい。
- ⑤ 各公共施設の管理面においては、世界情勢不安に伴う原油高・物価高騰により、燃料費や光熱水費での予算流用や増額補正が行われている。
- 引き続き先行きの不透明な状況が続くことが予想される。今後も施設の維持管理経費における執行管理も適切に努められたい。

(2) 特 別 会 計

- ① 国民健康保険特別会計については、国民健康保険税の収入未済額が137,504,918円で前年度に比べて15,416,351円の減少であり、不納欠損額も9,279,689円で前年度に比べて3,822,795円の減少となっている。引き続き収納率の向上に努められたい。

令和5年度における保険給付費は前年度より48,186,280円の増加（対前年度比1.8%増）となっており、これら事業費全体の動きとしては、事業主体である県負担金への影響も想定されることから、今後の受診動向や保険給付費における状況分析へも注視されたい。

- ② 後期高齢者医療特別会計については、本年度の歳出決算額は557,424,039円であり、前年度と比較すると6.0%の増加となっている。これから益々高齢化社会が進行していくことに伴い、医療費も右肩上がりに増加し、事業費全体の規模も膨らんでいくことが予想される。今後も健全な運営が図られるよう、不納欠損額・収入未済額の縮減に向けた取り組みへも努められたい。

また、健康診断や人間ドックを啓発し受診率のアップとともに健康寿命の延伸にも引き続き努められたい。

- ③ 交通・火災災害共済事業特別会計については、加入者20,701人、加入率62.0%と減少傾向にある。加入率の増加を図るとともに、事業の方向性についても検討されたい。

- ④ 浄化槽事業特別会計について、市町村設置型浄化槽整備事業が令和3年度末で終了となり、令和4年度からは個人設置型浄化槽へ移行された。また、設置後10年を経過した市設置型浄化槽を順次、個人へ無償譲渡することとなり、本市における浄化槽事業の制度が大きく転換することとなった。引き続き譲渡後における管理体制及び支援策の構築を行うとともに、市民への丁寧な説明を心掛け円滑な事業運営に努められたい。

- ⑤ 介護保険特別会計・居宅介護予防支援事業特別会計について、介護に係る対象者は、前年度と比較し1.1%の増加となっている。

利用者の負担が増えないよう費用の抑制と併せて積極的な取り組みを実施し持続可能な社会保障制度の確立に向け事業推進に努められたい。

- ⑥ 活性化事業特別会計について、各温泉施設の利用者は令和4年度と比べ全施設で増加しており、新型コロナウイルス感染拡大前の数値に限りなく戻っている状況である。

一般会計からの繰入金は、60,934,943円と前年度より11.2%の減少しているが、依然として赤字経営が続いている状態である。原油高・物価高騰の影響により、今後さらに経営は厳しくなっていくことが予想される。創意工夫により、安定的な経営に努められたいが、施設の存続も含め慎重に検討されたい。